

平成28年度前期学校評価について
～ 前期の成果と反省を生かし、「笑顔まんかい」の平井っ子の育成をめざし、
今後もしっかり取り組んでいきます ～

9月末に実施いたしました学校評価アンケート（前期）にご協力いただき、誠にありがとうございました。約93%の回収率は、保護者の皆様の本校教育に対する思いや願いであると真摯に受け止め、いただきました学校への評価やご意見等をもとに、今後、次の点に力を入れていきたいと思っております。

【今後次の点に力を入れていきます】

- 1 児童の基礎・基本の学力の定着を図り、学力向上を目指します。
- 2 児童の望ましい人間関係づくりに力を入れます。
- 3 読書活動に力を入れます。
- 4 基本的な生活習慣の定着を目指します。

なお、評価の分析と具体策は以下を、また、評価の詳細は、別添資料をご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

1 保護者アンケートから（9月末に実施）

（1）評価の高かった項目（3.7以上）

とても高い評価をいただきました。評価がとても高かった項目は、次のとおりです。

- 1 「子どもを平井小に通わせてよかった」（3.84）
- 2 「授業参観や運動会等の行事には積極的に参加している」（3.73）
- 3 「子どもは、楽しく学校に通っている」（3.71）

※得点については、「あてはまる」を4、「大体あてはまる」を3、「あまりあてはまらない」を2、「あてはまらない」を1として換算し、その平均を出したものです。なお、「わからない」は除いています。

（2）今後考えていきたい項目（3.2以下）

どの項目も高い評価をいただきましたが、今後考えていきたい項目は、次のとおりです。

- 1 「子どもは、挨拶などの基本的な生活マナーを身に付けている」（3.01）
- 2 「子どもは、誰かがいじめや人権侵害を受けているとき、それを止める姿がある」（3.14）
- 3 「子どもは、誰かがつらい思いをしているとき、一緒に考える姿がある」（3.20）

※2・3については、「わからない」の回答が、各々約5%、約10%ありました。

（3）今後に向けて（今後、力を入れていく点とその具体策）

○ 児童の望ましい人間関係づくりに力を入れます。

児童にとって、学校・学級は、多くの人とふれあう楽しいところでなくてはならないと思います。さらに、いじめのない互いのよさを認め合う望ましい人間関係づくりに力を入れていきます。

そのために、①豊かな心を育てる道徳の時間の充実、②いじめの早期発見、解消のためのいじめ・相談アンケート（スマッピーチェック）の毎月の実施、③アンケート結果等を踏まえた教育相談や児童の情報交換会に取り組みます。

ご家庭でも、お気づきの点やご心配なこと等ありましたら、遠慮なくご相談ください。

○ 基本的な生活習慣の定着を目指します。

児童の健やかな成長のためには、基本的な生活習慣を身に付けることが必要です。荒尾市でも「荒尾っ子のできるといいね」を作成・配付し、よりよい生活習慣を推進しています。基本的な生活習慣の定着は、心身の健康だけでなく、学力の向上にもつながります。

そのために、①月2回のさわやか検査（ハンカチ、つめ、朝食摂取等の調査）の継続、②児童会と連携したあいさつ運動の推進を行い、子ども自身が気付き実践できるようにします。また、ご家庭と協力して、③メディアコントロール週間（2回目：11/14～18）の実践活動に取り組みます。

ご家庭の協力がなくては、基本的な生活習慣の確実な定着は図れません。ご協力をお願いします。

2 児童アンケートから（9月末に実施）

児童に対しても9月末に学級でアンケートをとり、自分の生活を見つめ直す機会としました。

（1）評価の高かった項目（3.7以上）

評価がとても高かった項目は、次のとおりです。

- 1 「学校（先生）は、自分や相手の心を大切にし、命を大切にすることを教えてくれる」（3.93）
- 2 「学校（先生）は、決まりや約束を大切にするようにいつも注意してくれる」（3.89）
- 3 「学校（先生）は、分かりやすく勉強を教えてくれる」（3.87）
- 4 「平井小学校で、学んでよかったと思う」（3.87）
- 5 「登下校や日常での交通事故に気を付けている」（3.86）
- 6 「学校（先生）は自分が努力したことをほめたり、認めたりしてくれる」（3.84）

（2）今後考えていきたい項目（3.2以下）

児童が生活を見つめ直した結果、評価が低かった項目（「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が20%以上）は、次のとおりです。

- 1 「宿題や学習用具の忘れ物をしていない」（3.11）（23.5%）
- 2 「よく読書をしている」（3.17）（22.7%）
- 3 「毎日、家で決められた時間以上の学習をしている」（3.25）（22.7%）

（3）今後に向けて（今後、力を入れていく点とその具体策）

○ 基礎・基本の学力の定着を図り、学力向上を目指します。

児童にとって、授業がわかり、学習内容が定着していくことは、大きな喜びにつながります。「分かった」「できた」「もっとやりたい」と児童が思うような授業づくりを心がけ、学力向上を目指します。

そのために、①学力充実タイム（水曜日放課後）での複数の教師による指導、②個別指導の時間の確保（火・木曜日の放課後）、③話の聞き方や姿勢など学びの態度づくり、④家庭学習の習慣化（「10分×学年+10分」以上）に取り組めます。

学校で学習したことがしっかりと定着していくために、ご家庭でも家庭学習の習慣化にご協力ください。

○ 読書活動に力を入れます。

本校では、各学年で保護者の皆様による読み聞かせが計画され、年間を通して実施いただいています。誠にありがとうございます。読書は心の栄養とも言われます。読書活動を推進するために、次のことに力を入れていきます。

①児童が行きたくなる魅力的な図書室づくり（市立図書館と連携し、毎月テーマを決めて新しい本の紹介をする。1回の貸出で5冊借りることができるようにする。）②学年の目標冊数を定める。③各学級で図書室に行く時間を決めて、読書の時間を確実に作る。④毎週月曜日の朝の読書の時間の充実。

読書活動を継続して取り組んでいる学級では、4月からの半年間に子どもたちが読んだ本の冊数が500冊を超えたと通信で紹介されていました。

図書室の本は、保護者の皆様にも貸出を行っています。ぜひ、ご家庭でも、読書の楽しさを味わう時間を作っていただくなどして、家庭読書の推進にご協力をお願いします。



全職員一体となって、以上の取組を行っていきます。保護者の皆様には、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

●結果の詳細は、資料①－1（保護者集計）及び①－2（児童集計）

●いただいたご意見は、資料②をご覧ください。